

Lion

IWATE

2017
3
Mar.



雛まつり
主役は母の背に眠り

- ZC会議・キャビネット会議報告
- 第二副地区ガバナー就任のごあいさつ
- 特集① ライオンの森
- 特集② あづま海道を行く
- 100年後のライオンズを想像してみよう



ゾーンチェアパーソン会議

3R2Z ZC
L 村上 滋

2017年2月15日(水)住田町のホテルグリーンベル高勤において出席義務者のCAB3役、第一、第二副地区ガバナー、ZC、事務局の17名全員の出席で開催されました。

住田町は第一副地区ガバナー森谷潤 Lの所属クラブの所在地です。第3回ZC会議、CAB会議は次期CABの所在地での開催が慣例となっており、オブザーバーとして次期の役員予定者も参加します。

会議に先立ち名誉顧問を交えて第二副地区ガバナーの承認が確認され、紆余曲折はありましたが

何とか次期CABへの引継ぎの道筋が開け、地区ガバナー金野 Lも一安心といったところでしょう。

会議ではCAB会議の議題について、春・夏季YCE来日生受け入れについて、アワード申請について、諮問委員会について意見交換を行いました。残された任期も1/4といったところですが、メンバー諸兄には国際協会100周年の特別な年度であることを再認識していただき、一関中央CABの完遂にもう一押しのご協力を願いたいと思います。

キャビネット会議報告

ガバナー室 室長
L 小野寺 秀徳

2月15日 時間を繰り上げて13時10分より、第3回キャビネット会議が次期キャビネット予定地の住田町「ホテルグリーンベル高勤」で開催されました。

現役員と次期役員69名の参加を頂き、現役員はひとりずつ紹介させて頂き、次期役員は次期キャビネット幹事の鈴木芳勝 Lに紹介して頂きました。

地区ガバナー金野幸造 Lの挨拶では、クラブ役員がリーダーシップを発揮して一人でも多くの会員を獲得し、会員増強をさらに強気に推進してほしいこと、また、第63回年次大会では、大会テーマ「100周年 つなごう奉仕の輪 伝えよう感謝の心」のもと、100年に一度しかないこの節目の本大会で前会員と共に盛大に行いたい、1,000名の登録を目標に行いたいと話されました。また、地区GMT・GLT・LCIF・FWT・百周年記念コーディ

ネーターより活動報告がありました。

地区幹事鈴木雅彦 Lからは、7月から12月の活動報告、台風10号の災害支援状況の報告など15項目の幹事報告がありました。

議案審議では、キャビネットローテーションの確認、次期地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナーの立候補者の承認、会計報告・監査報告など全て原案通り承認されました。

その後、各ZCの活動報告、次年度第一副地区ガバナー立候補者猿舘伸俊 Lよりご挨拶を頂きました。

キャビネット役員、皆様の協力で無事に終了致しました。あらためまして、ご参加の皆様に感謝申し上げます。

2016-2017年度

332-B 地区

第二副地区ガバナー



さ る だ て の ぶ と し
L 猿館 伸俊

会員番号 1366877
 生年月日 西暦1940年6月10日生 (76歳)
 自宅住所 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡1-20
 電話 019-638-3760
 F A X 019-638-3760
 勤務先住所 〒020-0834 岩手県盛岡市永井14-5
 勤務先名 大伸工業 (株)
 役職名 代表取締役会長
 電話 019-638-3251
 F A X 019-638-4796

ライオン歴

1998年7月16日 入会
 2007年7月～2008年6月 盛岡南ライオンズクラブ 会長
 2009年7月～2010年6月 2年理事
 2010年7月～2011年6月 会員理事
 2010年7月～2011年6月 出席会員会則委員会委員長
 2016年7月～2017年1月 1R1Z ZC
 MJF 13回

職歴

1960年4月 岩手県庁入庁/1961年10月 退職
 1967年4月 大和ハウス工業 (株) 仙台支店 入社
 /1982年3月 退職
 1982年8月 佐藤工業 (株) 取締役副社長 就任
 1983年8月 大伸工業 (株) 代表取締役 就任
 1989年11月 協同組合 建翔 代表理事 就任

公職、叙勲、賞罰

1969年7月 大和ハウス工業 社長表彰 工事実績 全国第1位の表彰
 1978年1月 大和ハウス工業 社長表彰 営業実績 全国第1位の表彰
 2001年 岩手県建設業協会 支部長表彰
 2008年 ライオンズクラブ国際協会員 リーダーシップメダル賞
 2013年 岩手県建設業協会 会長表彰
 2014年5月 岩手県建設業協会盛岡支部 支部長就任
 /2015年4月 退任
 2015年5月 岩手県建設業協会副会長 就任
 /2016年4月 退任
 2016年 全国建設業協会 会長表彰

家族

猿館 美代子 (妻・農業) / 猿館 伸威 (長男・会社役員)
 猿館 京子 (長男の妻・会社員) / 猿館 伸一朗 (孫・大学生)
 猿館 啓伸 (孫・高校生) / 猿館 伸哉 (孫・高校生)

■就任のごあいさつ

去る2月15日、第3回キャビネット会議において第二副地区ガバナーとして承認を賜り、地区ガバナー金野L、地区名誉顧問の皆様、そして次期ガバナー予定者の森谷Lと皆様には大変な苦勞をかける結果となり心苦しく思っております。何故なら、ゾーンチェアパーソンも第二副地区ガバナーも半期のみ活動だけに終わり、来期はライオンズ結成100周年という節目の年ですが、国際会長テーマ「次なる山を目指して」そして332-B地区ガバナーテーマ

「躍動-この節目 心一つに 未来へつなぐ-」の合言葉を、末端までモーラルアップを活かせないままに今回の就任となった次第です。また、アクティビティ、クエスト、会員増強に加え台風10号等の自然災害と課題は多く、ライオン精神を発揮するには諸先輩・諸兄・会員・事務局員の協力無くしては332-B地区としての活動、位置付けは到達出来兼ねますので、今後とも何卒お願い申し上げます。

■副地区ガバナーの紹介

332-B 地区第二副地区ガバナー猿館伸俊 L の御承認、誠にありがとうございます。

猿館伸俊 L について簡単にご紹介しますと、ライオン歴などは上記の通りで、趣味は釣りでございます。2m 超えのカジキマグロ 80kg を釣り上げ

盛岡南 LC 会長 L 藤巻 譲治

るほどほどの腕前です。勤勉、実直、流れる水のようにいつも濁りなく、仕事にライオンズ活動と邁進しております。

5 ヶ月の任期ではございますが、どうぞ皆様のご協力、ご指導よろしくお願い致します。

シリーズ 森のなかのいわて…共生の道

第8回 ライオンの森



花泉ライオンズクラブ「ライオンズの森」は、1978年2月「次代に遺産を遺そう」と、当時日形財産区（現在一関市）と50年の分収林設定契約を結び、一町歩の森林を造成し3,000本の杉を植栽しました。

当時のライオン一人ひとりの思いが、自然あふれる緑、環境保全を願い、クラブ結成10周年の記念事業に組み入れ、150万円を費やして未来に投資をしました。

以来毎年、森の手入れや下刈り作業等の奉仕活動を行い、今年39年目を迎えます。

将来の伐採、そしてまた植林へと花泉ライオンズクラブの希望と夢のある財産です。

（取材/L 熊谷嘉高 執筆/L 菅原徳哉）



ライオンの森の整備 これから

ライオンいわて11月号にて、私も係わった「ライオンの森の整備」について執筆しました。森の近くには『みんなで育てよう…豊かな森』の標識がありますが、11月号に記載の通り、昨今手入れをしていないのが現状であります。

2006年6月に3R2Zの(当時)6クラブ合同で真湯の森にブナの苗木8,000本を植栽しました。数年間、下刈りなど行ってきましたが、専門家のお話で苗木が成長してきたのでもう下刈りなどをしないで大丈夫と聞き、以来手を入れていませんでした。

あれから10年が過ぎ、LCには新しい会員仲間も増えました。雪解けが終わり山菜の芽吹く頃、一緒に現場を見て森の管理が放置されずに、次世代の仲間と共に次の100年に向かって進みたいと願うものです。



一関 IC から須川岳に向かう国道沿いにライオンの森があります。

環境問題について思うこと

緑の貯水池

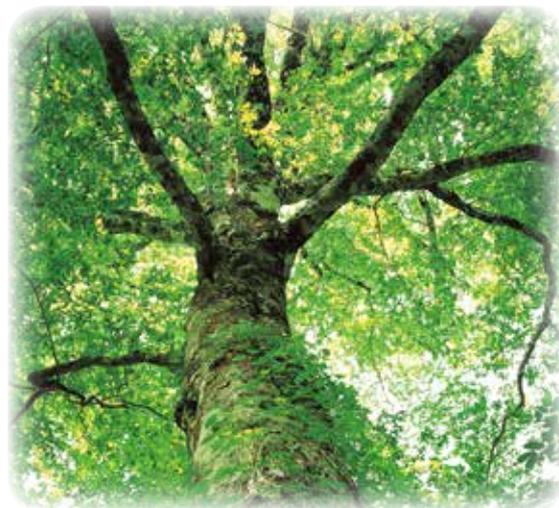
山地に降った雨について考えてみる。雨は土地が裸の土地であれば、降水はごく短時間のうちに地表を流れて川へ注ぐのですが、温暖化によるものなのか近年多くなった豪雨のように雨量が多いと洪水になってしまいます。

然し、そこに森林、ことに広葉樹林があれば、降水は先ず広葉樹林の樹冠に落ち、次第に下に落ちてくるので、地表に落ちるまでに時間がかかります。大樹の下でわか雨を避ける理屈です。更に、広葉樹林の地表には枯葉が腐食した腐葉土が厚く堆積してスポンジ状になっていて、多量の水を含む力(保水力)を持っています。水は一旦ここに貯えられ、ゆっくりと一部は地下へ浸透し、他は少量ずつ低地へ流れ下り、通常の流水となります。

広葉樹林のうちでも、特にブナ林はこうした効用が大きいので「緑の貯水池」ともいわれ、環境

保全の中で、ブナ林の保全が大きな関心を持たれているわけです。

森林を増やし「緑の貯水池」を減らすことなく、未来につないでいかなければと思います。



副編集長 L 小野寺 進

ライオンズクラブ国際協会100周年記念 332-B地区 第63回年次大会

大会テーマ

100周年 つなごう奉仕の輪 伝えよう感謝の心

ごあいさつ

1917年創立されたライオンズクラブは世界最大の国際的奉仕団体となり、本年100周年を迎えます。

この記念すべき年の年次大会をすべての会員が一堂に会し、創立者メルビン・ジョーンズや先人の活躍に思いを馳せ、喜び溢れる大会にしたいと思います。

大会テーマ「100周年 つなごう奉仕の輪 伝えよう感謝の心」のもと100年に一度しかない本大会を全会員で盛大に祝意を捧げたいと思います。

地区大会会長・地区ガバナー **L 金野 幸造**

地区年次大会委員長 **L 小岩 丈郎**

大会日程

日 時 2017年5月14日(日)
会 場 一関文化センター
住 所 岩手県一関市大手町2-16 TEL 0191-21-2121

祝賀会

会 場 一関市総合体育館(Uドーム)
住 所 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬25番地3 TEL 0191-31-3111

親睦 ゴルフ大会

2017年5月13日(土) 南岩手カントリークラブ
登録料 3,000円 オールセルフ

登録について

◆大会登録料 L 10,000円 / LL、LS、家族会員 8,000円
事務局員 8,000円
◆申込締切 2017年4月5日(水)
◆振込先 岩手銀行大通支店 普通預金 2010769
◆口座名義 ライオンズクラブ国際協会
332-B地区 キャビネット事務局 会計 芦萱敬一

ホストクラブ

3R2Z
●一関中央ライオンズクラブ ●一関ライオンズクラブ
●平泉ライオンズクラブ ●花泉ライオンズクラブ
●一関敵美溪ライオンズクラブ

地区未来ビジョンセミナー参加報告

滝沢 LC
L 中村 さと美

去る、2017年1月25日(水)北上市において、地区未来ビジョンセミナーが開催されました。
講師陣からは、共通をして100周年 記念の年、変化へのチャンスの年であること、未来へ向けての展望と共に、熱いメッセージをいただきました。

ガバナー基調講演

332-B 地区ガバナー
L 金野 幸造

100周年記念事業として、少しずつ成長し後世に残る木々の「植樹」を各クラブで取り組もう。

ライオンズの輪に縛られず、諸団体とのコラボレーション、さまざまな活動を通して地域に役立ってほしい。

次世代へ引き継ぐために、守るべき伝統は守り新たな考えも受け入れながら努力をして行こう!

『ガバナーテーマ「躍動」

この節目 心一つに 未来へつなぐ』

GLT (グローバル指導力育成チーム) セミナー

GLT 地区コーディネーター
L 千葉 龍二郎

GLTは、成果を数字に表せないチームではあるが、未来へ向けしっかりと取り組むべき重要なチームである。

地域社会、組織の中で周囲がその気になった時、流れができる。2011.3.11東日本大震災から6年この年月で、震災当時より復興支援の形は変化している。

今、地域に必要とされているニーズをしっかりと調査し、いち早く対処する。

地域のリーダーとして旗振り役になろう! 認知されるよう、マスコミや諸団体との強いつながりでPRして行こう!

『リーダーしだいで組織は動く!!』

GLT (グローバル指導力育成チーム) セミナー

GMT 地区コーディネーター
L 米谷 春夫

会員拡大が難しいとされている今、新会員の候補となるのはどのような人か、勧誘のためのリストアップ、人脈を生かすことが大事。今期もあと5か月、各LC 純増1名の目標を!!

勧誘を成功させ、退会防止のためにも、会員一人一人が忘れないでほしい!

『最低限度の節度と品格を!!』

ライオンズ必携とは

キャビネット幹事
L 鈴木 雅彦

今だからこそ、ライオンズクラブの基礎、創立者メルビン・ジョーンズの思い、日頃のクラブ運営に役立つ項目などポイントの説明がありました。(ライオンズ必携 P25.P90.P98他)

新年度のライオンズ必携を購入されていないクラブあります。毎年購入し、クラブ運営に活用しましょう。

今回のセミナーを通して、一人のライオンズ会員として思うことは、まず年齢が違い、クラブの歴史・規模、ライオン歴、そして生きる世界が違うなど、属性が違っていても、同じではないからこそその意見交換、人的なネットワークが生まれる。やはり人との「つながり」これが会員としての醍醐味ではなからうかと僣越ながらかみしめているところでもあります。

ライオンズクラブ設立100周年から101年へ 未来へ向けて スタートの一歩が踏み出せるヒントが得られたセミナーでした。We Serve ありがとうございます。

連載

あづま海道を行く

—その7—



セツ石と八天縄文遺跡

北上の展勝地から北へ1 kmほどで国道107号と交差するが、一関から見て県道14号線の終着点。ここから県道28号線となり、花巻の高木で国道4号線と交差。距離にして12 kmほどだが、この道の黒岩地区3 kmは、北上山系が北上川と寄り添い、その袂を県道が遠慮がちに通っている。さらに県道と川の間には花巻まで続くサイクリングロードが見え隠れしていた。住民と川の関わりが深い地区に感じた。

北上川にまつわる昔話しもたくさんあるようだ。そのひとつ「セツ石」。

「むかし、川向いの社に住んでいた弁天様は、川の増水のために渡しを使えなくなる村びとを見かね夜のうちに橋をかけてあげようと思いました。

遠くの間から大きな石を一つ、二つと運んでいると、アマノジャクが来て「弁天様何をしているの」と言いました。「ここに橋を架けようとしているのさ」「神様が橋をねえ。どうして昼にやらないの。」

続きは現地でお読みください。「セツ石」の現物も見られます。

黒岩郵便局前を通過し、黒石小学校手前から1.5 kmほどで国指定史跡の八天縄文遺跡に到着。

八天遺跡はおもに縄文時代中期末から後期末（およそ4500年～3200年前）の拠点的な集落で、大形建物跡が特徴であると紹介されている。

「この建物跡は同心円状に幾重にも柱穴が廻っており、改築による十回分の建物が重複、この時代の一般的な住居跡におよそ五倍の広さがあった。

また集落内にはたくさんの貯蔵穴や墓穴もあり、こうした穴から耳・鼻・口をかたどった土製品が見つかった。いずれも人の顔の実寸大で、ひもを通すための小さな孔が穿たれていることから、仮面の部品と考えられる」とも解説されている。

これら土製品は類例が極めて少なく、学術的にも貴重なものであることから平成4年に国の重要文化財に指定され、北上市立博物館に展示されているとのこと。



静寂な北上川の流れにセツ石が見え隠れする



突然、縄文人が現れても不思議のない佇まい

中野一里塚と新渡戸稲造

八天遺跡から5 kmほど北進し、花巻市古館から右折、高木団地を抜け2kmほどで中野一里塚に着く。北前方に新渡戸記念館も見える。

この一里塚は江戸時代初めの17世紀前半、奥州道中(おうしゅうどうちゅう)とともに整備された脇街道・土沢往来筋に築造されたものと紹介されている。この塚のユニークなのは道をはさんで南北に二基、塚が築かれ、頂上付近に松の古木を残していることだ。しかし残念なことに、現在は写真で見ての通り右方の古木は枯れて伐採されてしまった。隣の若木が大きくなるまで百年ほど待つしかない。

冗談はさておき、この道は古来、五十集(いさば)とか塩の道と呼ばれ、三陸海岸で採れた海産物や塩を大槌から遠野、土沢を経由し花巻まで運んだ重要な道筋として賑わっていた。

中野一里塚から北に田圃道を400 mほど直進すると新渡戸記念館がある。手前の広々とした庭園は新渡戸家ご先祖の屋敷跡である。由来を紐どけば、慶長3年(1598)、33代春治(ときはる)が盛岡の南部利直公に仕え、この地を賜り、以来40代惟民(これたみ)までの228年間、居住

した。この間、高松・安野の地の新田開発など、地域に貢献した、と紹介しているが、私が気になるのは33代の前は?ということで、予定にはなかったが記念館を見学することにした。

館内に入り、新渡戸氏のルーツを読み始め「しまった」と思ったが、今さら後にひけない。

文治5年(1189)、奥州藤原泰衡征伐の際、源頼朝より東海道軍の総大将を任じられた千葉常胤が新渡戸家のご先祖だという。その経緯とは、常胤の孫が下野国(しもつけのくに)新渡戸の駅において藤原泰衡軍の刺客遠田三郎を誅殺、その功により新渡戸の地を賜り、5代後の貞綱が居城、6代後の信盛の時から、その地にちなんで正式に姓を千葉から新渡戸に改めたという。考えて見るに、現在の岩手の千葉姓の方はほとんど常胤さんが御先祖だろうから、これ以上は詮索しないことにする。

時は流れ文久2年(1862)、新渡戸十次郎、せきの三男として盛岡で生まれたのが稲造先生である。先生の功績については語るまでもないが、一言でいえば「ウィ・サーブ」ではないだろうか。

ルポ/梅木隆詩



江戸時代の初めに築造された中野一里塚



新渡戸稲造父祖ゆかりの地

100年後のライオンズを想像してみよう

●1917年6月7日、ライオンズはシカゴでの小さな一歩から始まり、奉仕と献身の世界的リーダーとなりました。そして変化する世界に対応して前進を続けてきました。

100年前にさかのぼってみますと、次のような出来事がありました。どれをみても100年の歴史を感じる出来事です。

- ・第一次世界大戦：アメリカ合衆国がドイツに対して宣戦布告。
- ・ジョン・F・ケネディ（政治家）誕生。
- ・東京YMCAに日本初の室内温水プールが開場。
- ・日本女性初の自動車免許を栃木県の女性が取得。
- ・京都—東京512kmで「東海道五十三次関東関西対抗駅伝競走」を開催。初めて「駅伝」の名称が使われる。
- ・関東大水害が発生。

●「変わるもの、変わらぬもの」

ライオンズは時代のニーズに応えステップアップしてきました。彼らには隣人たちが必要とするもの、地域社会に不足しているものが分かっています。地域社会と共にあったからです。

・・・ライオン誌1月号掲載・・・

ボブ・コーリユール国際会長メッセージ抜粋

●今後日本は、奉仕を行う人数を増やすだけでなく、日本ライオンズの将来を託せる、若いリーダー、女性リーダーを発掘し育成していくことが重要。そのためには退会率を減らしていくこと。退会理由には、人間関係、魅力少ない奉仕活動、マンネリ化した例会などが調査結果にあります。問題点打破の為には、クラブ間の垣根を越え、広く交流を図り多くの友人を作ることです。そこからクラブに役立つ多様な情報とアイデアを得られます。

・・・ライオン誌2月号掲載・・・

中村泰久国際理事だより抜粋

●ライオンズクラブ国際協会創設100周年テーマ「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」は、まさに変えてはいけぬものと変えていくべきものを実践し、その先にあるライオンズの姿を示唆していると思います。

●ライオンズは、なぜ100年も続いてきたのでしょうか。次のようなことが考えられます。

- 1、明白な目的と緻密な会則
- 2、与えることで、与えられる喜び。
- 3、生きがいを持てる、やりがいがある、満足感がある、次も参加してみようと思う。
- 4、褒められる、尊敬される、羨望される。
- 5、喜ばれる、感謝される、期待される。

この続きをどうぞクラブの皆さんで出し合ってみてください。

そして次の項目にも回答してみてください。

1、ライオンズクラブは、本当に必要な組織でしょうか。

- (1) 自分にとって
- (2) 家族にとって
- (3) 社会にとって

2、あなたがライオンズの好きどころ、嫌いどころ（もしあれば）をそれぞれ10個挙げてください。

3、ライオンズクラブは、他の類似する組織と比べてどこがどう違うのでしょうか。

4、ライオンズクラブに入会した理由はどんなことでしたか。

5、あなたが友人や知人をライオンズに誘う時、どんな話をしようと思いますか。

●ボブ・コーリユール国際会長テーマ「次なる山を目指して・NEW MOUNTAINS TO CLIMB」には、ボランティアは地域社会とつながる事が大切であること。そして後に続く者に準備をつくっておくことが必要との思いが込められています。

●ライオンズはともに、人生を変える人道奉仕の100周年を祝おうとしています。

2014年7月から2018年6月まで、世界中のライオンズはその地域社会事業を拡大し、他者に奉仕への参加を呼びかけることで、一丸となって100周年を記念します。

ライオンにとって胸躍る時です。

●100周年記念のお祝いを始めましょう

1.クラブで100周年について話し合い、記念活動への参加を呼びかけます。

2.クラブの100周年記念委員長および/または委員会を専任します。

3.クラブが奉仕を通して人々を導き、新会員を招請してインパクトを高め、各地域社会とつながるための計画を立てます。

4.地区100周年記念コーディネーターに計画を伝えれば他のクラブも皆さんのアイデアを役立てることができます。

●ライオンズクラブが記念と奉仕に参加する方法

◎奉仕を通して導く

青少年の参加、視力保護、食料支援、環境保全に役立つ100周年記念奉仕チャレンジの事業を企画する。成功を地元メディアに報道してもらい、またMyLCIでも報告する。

◎新会員を招請してインパクトを高める。

100周年記念会員増強賞を目指して新会員を招請し、新クラブのスポンサーになる。新会員に100周年記念奉仕事業への参加を呼びかける。

◎地域社会とつながる

各地域社会のニーズを見極め、100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを計画して地域に長期的なインパクトを及ぼす。

その事業をソーシャルメディアとハッシュタグ

「#LIONS100」で分かち合う。

●明日のライオンズはどうなっているのでしょうか。素晴らしいアイデアがあります。この夏のシカゴ開催第100回国際大会から、未来の青写真を描くLCIフォワードを展開していきます。

*LCIフォワード 次なる100年に向けた戦略計画。新たなビジョンと進路。

・・・ライオン誌1月号掲載・・・

ボブ・コーリユー国際会長メッセージ抜粋

●ライオンズ創設100年の節目にいることを強く感じ、その一翼を担っている皆さん一人一人が、この時代に生まれ、この組織に出会えたことを喜んでください。

そして過去を振り返り、現在を見つめ、未来を展望するチャンスと捉え、地区としてクラブとして新たなスタート始まりとしてください。仲間とともに、次の100年に向けた惜しみない力をもって躍動してください。

「ハッシュタグ」とは、Twitterを中心としたSNSで、投稿内のタグとして使われるハッシュマーク

「#(半角のシャープ)」がついたキーワードのこと。

「ハッシュタグの効果」

同じことに興味を持った人たちと共通の話題で盛り上げられる。他のユーザーが検索しやすくなる。

キャビネット筆頭副幹事 L 高橋恒司

第2回親子工作教室を開催して

平泉 LC 事務局
L 瀧澤 順昭

前期から始めた新しいアクティビティ親子工作教室は、3月に卒園する年長児を対象に親と一緒に椅子を作るアクティビティです。

親子でひとつのものを組み立てることによって、ものを作る喜び、ものを大切に作る心、そして親子のコミュニケーションをさらに深めることを目的に、当クラブの青少年育成事業として開催しております。

今回は、2月1日長島保育所の園児12名、2月8日平泉きり園の園児35名、延べ47名が参加しました。普段持つ事もない金づちと釘を握りしめ、最初のうちはなかなか釘を打ち込めず悪戦苦闘していましたが、ライオンズメンバーの補助もあり、楽しみながら作業することができたようです。参加した女の子のおかあさんは「うちの子は飽きやすいので、時間内に作れるか心配していましたが、作り始めたら最後まで集中して取り組むことができました。親子でこのようなものづくりを体験したことは、幼稚園の時に椅子作ったねと、一生の思い出に残ります。」とコメント頂きました。

この椅子の背もたれ板は事前に配布し、各園児

が幼稚園、保育所での思い出を絵に描いてもらっています。ですから世界で一つだけのオリジナル椅子となります。そして、その椅子に座って卒園式を行い、卒園の記念として各自持ち帰ることになります。

単純にものを作って終わりではなく、自分たちが作ったものを卒園式で使用することが、この事業の目的である「ものを作る喜び、ものを大切に作る心、親子のコミュニケーションを深める」に、本当の意味で目的を達成できるものと信じております。

このアクティビティを行うにあたり、当クラブメンバーから木材をドネーション頂き、また組み立て出来るように材料を切り揃え、加工仕上げる。そのような事前の下準備を、メンバーが労力を惜しまず協力頂いて初めて工作教室を開催できています。

今後も当クラブのメイン事業として継続していくことをメンバー全員が確認しており、ウィサーブの精神のもと地域に貢献し、このような活動をしていることが認識され、それが最終的にライオンズメンバーの増強に繋がれば、さらに素晴らしいことだと思っております。



第22回安代ライオンズクラブ杯 安代地区スキー大会

安代 LC 会長
L 三浦 侃

暦の上では立春ですが、まだまだ寒い日が続く2月4日(土)に、今年で22回目となる安代地区スキー大会を行いました。

開催場所は、いわて国体 冬季大会の競技も行なわれた田山スキー場。数日前までは天気が悪く、風も吹いて視界が悪かったため、どうなるかと心配しました。ですが、大会当日はやや曇り空だったものの風はなく、とても冷え込みましたがスキーを滑るのには差し支えないといった状況で安心しました。

本大会は、旧安代町地区の小中学生の男女を

対象とし、アルペン・クロスカントリー・ジャンプの3つの競技でそれぞれ競い合いました。今年は約150人の子供たちが参加してくれました。タイムや飛距離を競ったり、なかには基本1人1競技の参加ですが、個人部門で滑ったあとリレーにも参加している子がいました。みなそれぞれに頑張っていました。

今回のスキー大会をはじめ、普段行っている献血推進活動や地域清掃、歳末チャリティへの協力など『We Serve!』の精神のもと、これからもお手伝いができればと思います。



啄木文学に親しむ

毎年2月の啄木生誕祭に当クラブ協賛の「啄木かるた大会」が行われます。

小学校低学年の部から大人の部まで三人一組の団体戦で、代表作「一握の砂」「悲しき玩具」に収録されている短歌百首を用いたかるたを、上の句が書かれた読み札を聞き下の句が書かれた取り札を取り合う競技です。参加者は日頃から啄木の歌に触れ親しみ暗唱できることが必要と、小中学生は何か月も前からチームを組み、句の読み合わせや模擬対戦を行い大会に備えることで、啄木文学の一端に触れながら競技を楽しんでいます。

今回も啄木流転の地・函館で開催された「函館・盛岡啄木交流かるた大会」成績優秀チームを招き98チーム、294名で熱戦が繰り広げられま

した。また、大会の小学生高学年の部優勝チームは7月開催の函館大会に派遣され彼の地との交流も行われます。

この大会を通じて子どもたちが郷土の先人を顕彰し、大人になり盛岡を離れても文学に親しみ、故郷へ思いを馳せるようになって欲しいと願っています。



玉山姫神 LC 会長
L 中野 昌明

1月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC	2日、3日、5日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
	26日	スペシャルオリンピックス日本・岩手
盛岡不來方 LC	2日、3日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
盛岡中津川 LC	2日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
	27日	LCIF \$ 1000 献金、LCIF \$ 20 献金
盛岡親武 LC	2日、3日、4日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
	30日	献血推進活動
盛岡南 LC	12月8日	熊本地震災害支援金
	12月8日、9日	1R1Z 合同台風 10 号被害支援金
	2日、4日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
滝沢 LC	19日	チャリティ益金、古切手寄贈
玉山姫神 LC	12月27日	盛岡レオクラブ「世界のカレンダー展」運営協力
1R2Z		
岩手 LC	12日	ガールスカウトへ助成金拠出
二戸 LC	17日	カシオペア青年会議所交歓会
	23日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
西根 LC	6日	八幡平市商工会新年交歓会
	30日	薬物乱用防止教室
安代 LC	-	
2R1Z		
花巻 LC	12月29日	献血推進活動
	1月19日	ライオンズクエストワークショップ
	～1月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
紫波 LC	7日、8日	紫波町スポーツ少年団武道大会
	8日	第3回献血推進活動
石鳥谷 LC	9日	花巻青年会議所賀詞交歓会
大迫早池峰 LC	9日	第41回郷土いろはカルタ大会
花巻東 LC	～1月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
東和猿ヶ石 LC	16日～17日	ライオンズクエストワークショップ
	31日	献血推進活動（新聞折込）
矢巾 LC	4日	矢巾駅に雨伞設置
	7日	すくすくネットワーク巡回指導
	16日	矢巾町町民劇場協賛
	19日	新1年生の為の防犯・交通安全教室
2R2Z		
北上 LC	12月1日～30日	資源回収リサイクル活動
	26日	献血推進活動

和賀 LC	9日、20日	資源回収
	17日	台風 10 号義援金送金
	26日	献血推進活動
北上国見 LC	4日、6日、20日、26日	献血推進活動
	20日	使用済み切手 3880 枚送付
江釣子 LC	8日	献血推進活動
	23日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
3R1Z		
水沢 LC	24日	使用済み切手 8003 枚送付
江刺岩手 LC	22日	江刺区体育連絡協議会新年交歓会
	28日～29日	江刺岩手 LC 杯フットサルカーニバル
前沢 LC	9日、14日、21日	小学生書初め大会
	15日	前沢 LC 杯少年剣道大会
	15日	献血推進活動
	20日	台風 10 号義援金
水沢中央 LC	10日	駒形神社 清掃・安全祈願
金ヶ崎 LC	13日	金ヶ崎町体育協会
	18日	使用済み切手 5400 枚送付
	20日～30日	ライオンズ国際平和ポスター展示会
胆沢岩手 LC	-	
3R2Z		
一関 LC	25日	薬物乱用防止講座
	26日	青少年ライオンズ賞表彰式
平泉 LC	26日	ライオンズ文庫
花泉 LC	30日	さくら園へ資源再利用品の収集支援
一関中央 LC	12日	学びの希望基金
一関蔵美溪 LC	20日	薬物乱用防止講習
4R1Z		
千厩 LC	5日	千厩町新年祝賀会
	31日	使用済み切手 3000 枚送付
大東岩手 LC	12月6日	献血推進活動（クリスマス献血）
	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
東山 LC	-	
藤沢岩手 LC	8日	子ども郷土芸能発表会
川崎岩手 LC	-	
室根 LC	21日	がん治療・がん予防講演会
4R2Z		
大船渡 LC	24日	グランドゴルフチャリティ益金贈呈
	25日	声の図書館点検と整備
陸前高田 LC	12日	ものづくり体験教室共催

住田 LC	-	
大船渡五葉 LC	-	
5R1Z		
宮古岩手 LC	9日	献血推進活動
久慈 LC	5日	使用済み切手 4081枚送付
	27日	久慈市社会福祉協議会評議員会
陸中宮古 LC	9日	献血推進活動
	10日、11日	レディの会奉仕活動
	13日	百獣の王ライオンコンペ
	29日	青年会議所賀詞交歓会
田野畑 LC	-	
岩泉龍泉洞 LC	4日～30日	台風10号被災者支援ランドリー 点検修理
	23日	岩泉町に支援金
	30日	社会福祉協議会に支援金
	31日	台風10号被災者支援ランドリー管理料支払い
	31日	LCIF \$1000 献金
5R2Z		
釜石 LC	18日	LL 奉仕活動
	15日	青年会議所新年交歓会

遠野 LC	25日	リサイクル品の回収
	30日	使用済み切手 1500枚送付
釜石リアス LC	24日	使用済み切手 1000枚送付
大槌 LC	12月20日	歳末助け合い募金活動 (慈善ナベの復活)
	17日	阪神淡路大震災発災に併せ慰霊の黙禱と公園清掃
陸中山田 LC	4日	新年交歓会
	4日～22日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト展示会
	8日	山田町成人式
ライオネスクラブ		
西根 LS	6日	八幡平市新年交歓会
	30日	薬物乱用防止教室
レオクラブ		
盛岡 LEO	2月5日	世界のカレンダー展
早池峰 LEO	9日	新春郷土いろはカルタ大会
石鳥谷 LEO	-	
北上 LEO	20日	いわて学び希望基金に寄付
一関二高 LEO	-	
釜石 LEO	-	

会員動向

1月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
盛岡不来方 LC	米田 眞 治
盛岡観武 LC	佐藤 昌 子
盛岡南 LC	橋 場 泉
西根 LC	丹内 洋 子
北上国見 LC	高橋 のぞみ
陸中宮古 LC	今村 正
	上野 佳 奈
	佐藤 委 子
	佐藤 史 昭
田野畑 LC	光田 栄 秀
	鋏形 金 由
釜石 LC	前原 京 二
	褰岩 彩 乃

1月 LCIF \$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
盛岡中津川 LC	佐藤 正	23
岩泉龍泉洞 LC	佐々木 松 夫	2

花巻東 LC
故 L 山下 武志
享年77歳 (1984年12月入会)
1月6日ご逝去





アクティビティ フォトグラフ

大東岩手LC



平和ポスターコンテスト入賞者表彰

西根LC



薬物乱用防止教室

滝沢LC



チャリティ益金・古切手寄贈

江釣子LC



平和ポスターコンテスト表彰式

前沢LC



第25回前沢LC杯少年剣道大会

花巻LC



ライオンの森管理作業

水沢中央LC



水沢中央LC旗争奪フットサル大会

住田LC



保育園の節分行事

釜石レオ



卒業レオを送る会

お詫びと訂正

ライオンいわて12月号13頁「国際平和ポスターコンテスト」の記事内において、ガバナー特別賞の受賞者名に間違いがございました。正しくは「田村優衣」です。訂正してお詫び申し上げます。

《表紙の写真:せんまやひなまつり》

千厩酒のくら交流施設や商店街で開催されるひなまつりです。段飾りやつるし雛のほか、大正時代の着物や帯も展示され、華やかで美しい空間が見る人たちをととても楽しませてくれます。

編集後記

ライオンいわての編集委員として、早いもので9ヶ月が経ちました。最初は3R2Z、5クラブの編集委員の方々ともあまり話をしたことがなく緊張してろくに意見も言えませんでした。今は月2回の編集会議は家族と会っているような和気あいあいとした良い意味の緊張感で活動しています。

一関中央LCの千葉ユキ事務局員には毎回コーヒー、お菓子、美味しいカレーライスを作ってください感謝しています。

さあ「ラストスパート」です！ 残りの3ヶ月間、再度気を引き締めて悔いのないように編集委員一同頑張っていきます。皆さん「ライオンいわて」見てくださいね！

(ライオンいわて編集委員 L 伊藤和江)

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2017年3月15日

発行人 L 金野幸造

編集長 L 菊地慶矩(一関中央LC)

副編集長 L 小野寺進(一関中央LC)、L 佐藤正彦(一関LC)

編集委員 L 村上耕一(平泉LC)、L 菅原徳哉(花泉LC)、

L 熊谷嘉高(花泉LC)、L 菅原公正(一関中央LC)

L 伊藤和江(一関巖美溪LC)

印刷 川嶋印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332b-morioka@almond.ocn.ne.jp